

環境家計簿(関電方式)の取り組みお願い

松愛会が関西電力の環境家計簿方式を採用されて本年で3年目を迎えます。京都支部としても関西電力方式での環境家計簿の取り組みを本年も継続してまいりたく、インターネットをご利用の方に限定されますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

クリックし、関西電力環境家計簿のホームページ画面の右下から入る。

されるとご家庭での変化がわかります。

※ 松愛会本部の団体コードは、松愛会ホームページの会員ページに掲載予定の記入の手引きを参照ください。ただし、松愛会会員以外の方には非公開です。

⑤ 登録は個人名の代わりにニックネームでも可能です。

江戸時代には遊郭が六条三筋町から移転。嶋原の起源です。伏見城は、かつて三つありました。一つ目は京阪宇治の観月橋のあたり、二つ目は桃山口、そして三つ目は現在の地に家康が建てました。

① 関西電力が運営する環境家計簿で、インターネットをご使用の方は関西電力のホームページからどなたでも参加できます。また、関西地域以外の方も参加できます。

② 関西電力の環境家計簿を活用すると、電気やガス・水道などの使用量を入力するだけで、ご家庭のCO2排出量を「見える化」できます。CO2に換算されますので、継続して利用

③ 松愛会は関西電力へ団体登録していません。個人で登録時に松愛会本部の団体コードをインプットして団体参加で登録すると、松愛会として全体の動向把握ができます。ただし、個人情報

④ 登録は個人単独でも登録できます。

◆ 一般的な登録方法・操作方法は、関西電力ホームページでも確認できますが、松愛会としてまとめた「環境家計簿(関西電力方式)PC使用」記入の手引きは松愛会のホームページに掲載されています。

近代化へ脱皮が急ピッチで進められました。琵琶湖疏水の開削、日本で初めての市街電車の建設、基幹道路の拡幅、延長等が精力的に実施されました。市電発祥の碑は京都駅と伏見にあります。

【関西電力方式環境家計簿とは】

京都学ぶ会 第14回例会を開催

① 関西電力が運営する環境家計簿で、インターネットをご使用の方は関西電力のホームページからどなたでも参加できます。また、関西地域以外の方も参加できます。

京都学ぶ会の第14回例会は、7月29日(月)にラポール京都で「京の町並みと通り唄」と題し、京都支部会員の富嶋茂樹さんに講演をしていただきました。当日は雨模様でしたが、56名が参加されました。

まず、西脇幹事の諸連絡の後に藤川会長から講師のプロフィールの紹介があり、講演会がスタートしました。富嶋さんは京都生まれの京都育ち、京都で学ばれた生粋の京都人で、京都をこよなく愛しておられます。

パナソニックでは主にテレビ関係の開発を担当され、退職後は同志社大学でも教鞭をとられました。講演はユーモアを交え、京都の歴史を熱く語られました。

秀吉の時代、そして明治の近世の京都の歴史について重点的に語られました。平安京の時代は、794年に長岡京から平安京(たいらのみやこ)へ遷都したところから京都の歴史は始まります。中央に朱雀大路を配し、東西数キロメートルにも及ぶ都が造営されました。

また、日本で最初の博覧会も京都で開催され、平安神宮はバビリオンとして建てられたもので、予算の関係で応天門の8分の5のサイズに模したものです。博覧会の出し物として、3世井上八千代さんが花街を結束して「都をどり」が始まりました。その他、チンチン電車のいわれや京電(京都電気鉄道)と市電の関係なども興味を引く内容で、京都の身近な歴史を興味深



講演をする富嶋 茂樹さん

さっそく登録してみよう！
環境家計簿に登録する

URL <http://www.keppco.co.jp/kaikyou/co2kakeibo/>

※環境家計簿 エコライフ フォチャック「関西電力」を

まず、平安京時代、戦国時代、安土桃山時代、江戸時代、明治時代、終戦に至るまでの大変詳しい年表が全員に配布されました。京都の出来事を振り返るのに大いに参考になります。

講演内容は、まず平安京、

でも知られています。

(3ページ上段に続く)